

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和4(2022)年度 第1回みよし市まち・ひと・しごと創生会議		
開催日時	令和5(2023)年2月20日(月) 午前10時から午前11時10分まで		
開催場所	市役所6階 601、602会議室		
出席者	<p>(出席者) 伊藤久司、岩田信男、岡澤圭悟、熊崎正作 高根福男、竹村 勉 野々山清、早川隼矢 廣田 東、湊 裕、鰐部兼道 ※50音順 敬称略</p> <p>(みよし市)酒井副市長 清水政策推進部長、伊藤政策推進部参事、深谷総務部長、 岡田市民協働部長、深津福祉部長、伊藤子育て健康部長、成田環境経済部長、 久野都市建設部長、富田教育部長 (事務局)海堀政策推進部次長兼企画政策課長、木戸副主幹、 加藤副主幹、岡田主事</p>		
次回開催予定日	令和5(2023)年9月頃		
問合せ先	<p>政策推進部企画政策課 担当 木戸、岡田 電話番号 0561-32-8005 ファックス番号 0561-76-5021 メールアドレス <a href="mailto:kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp">kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp</a></p>		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議事録全文</li> <li>・議事録要約</li> </ul>	要約した理由	
次第	<p>【議題】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 第2期みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略実績検証について</li> <li>2 みよしの地方創生に対する活動報告</li> </ol>		
典 礼 海堀課長	<p>御起立ください。一同礼。 ただいまから、第1回みよし市まち・ひと・しごと創生会議を開催いたします。 私は、典礼を務めさせていただきます政策推進部次長の海堀です。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日、会議の傍聴者はありませんが、本会議は、「みよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱」に基づき、公開対象の会議となっておりますので、あらかじめ御了承いただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の創生会議につきましては、令和3年度における第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の振り返り、また、みよしの地方創生にかかる活動報告を行います。</p> <p>始めに、酒井副市長より御挨拶をさせていただきます。</p>		

酒井副市長	<p>改めましてこんにちは。</p> <p>本日は年度末に向かう大変お忙しい中、この会議に御出席いただき大変ありがとうございます。また、日頃は、本市の行政各般にわたり、深く御理解御協力をいただき、重ねてお礼申し上げます。</p> <p>本日の会議については、昨年度のまち・ひと・しごと創生総合戦略の検証、さらに本市の本年度における地方創生の取組等の報告を行い、皆様方より御意見を伺いすることを目的に開催をしております。</p> <p>地方創生の取組報告については、企業版ふるさと納税、SDGs推進パートナーの創設等にかかる活動報告をさせていただく予定でございます。</p> <p>出席者の皆様におかれましては、それぞれのお立場から忌憚のない御意見をいただくをお願い申し上げます。冒頭のあいさつにかえさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
典 礼 海堀課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事に入る前に一つお願いがございます。本日の議事録はマイクからの録音で作成をしております。御発言の際には、マイクのボタンを押してからの発言をお願いいたします。</p> <p>要綱第4条第1項の規定により、会議の進行は政策推進部長が行うこととなっておりますので、進めさせていただきます。</p>
清水政策推進部長	<p>皆さんおはようございます。</p> <p>政策推進部長の清水でございます。</p> <p>座って進行を進めさせていただきます。</p> <p>それでは、お手元の次第に沿って議事を進めていきたいと思います。</p> <p>まず議題の「(1) みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>議題(1) みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略実績検証について、説明をさせていただきます。</p> <p>まず、資料1「第2期総合戦略の検証」を御覧ください。「第2期総合戦略」は令和3年度から7年度までの5年間を計画期間とし、3つの基本目標に対する評価指標(KPI)と基本的施策に係る具体的な指標をそれぞれ設定しています。</p> <p>令和3年度は第2期総合戦略の初年度となり、こちらは各課から報告のあった実績を基に作成した報告書です。今回は年度末での開催となりましたので、確認が可能な指標については令和4年9月又は10月末現在での速報値、令和4年末見込値を掲載しています。</p> <p>基本目標の内容と、目標値に対して著しく値の異なるKPIについて抜粋して説明をさせていただきます。</p> <p>資料1 ページ「基本目標Ⅰ 安心して子育てできる環境づくり」です。</p> <p>若い世代が安心して子育てできるまちを目指すための評価指標として「合計特殊出生率」「出生数」の増加を目指していきます。出生数は年度で、合計特殊出生率は年での実績となります。</p> <p>まず、評価指標2の「出生数」について。令和元年度から2年度にかけては大幅に減少し、令和3年度に回復、令和4年度は再び減少傾向となっております。増減を繰り返していることもあり、一概に新型コロナウイルスの影響のみとは言い切れない状況です。</p> <p>評価指標1の合計特殊出生率は、出生数と1年遅れで計算していることから最新の出生率は「令和2年分」です。出生数に比例し、令和2年の出生率は1.66人から1.36人に激減しています。令和元年度までは、国や県の出生率と比べて高い率でしたが、令和2年の愛知県の値は1.44人で、みよし市が県を下回る率となっております。</p>

ただし、令和3年度の出生数実績が令和2年度と比較して回復傾向にあることから、今後は一定の水準までは回復していくものと予測しています。

続いて2ページを御覧ください。「基本的施策① 結婚・子育てに関する支援」です。本市において子育て施策は大変重要な施策であると考えており、様々な施策を進めております。令和3年度以降新たに取り組んでいる事業について、一覧表にまとめておりますので御確認ください。なお、令和5年度の市役所組織の見直しにおいては、現在1課体制である子育て支援課を3つの課に分割してこども未来部を創設する予定であり、より充実した施策を展開する予定です。

3ページ左下の表「1-5乳幼児健診の受診率」を御覧ください。令和元年度以降、減少傾向となっております。理由としては、コロナの拡大も一因ですが、社会進出する母親が増え、多忙化することに伴う受診控え等が考えられます。

資料4ページを御覧ください。「基本的施策② 学校教育の充実」です。

I C Tの導入などを行い、良好な教育環境の整備を進めます。

K P I左下の表「1-7学校が楽しいと思う児童の割合」については、令和元年度以降ほぼ横ばいで推移しており、目標値と開きが始めています。一方で、5ページ下側「1-11不登校児童」「1-12不登校生徒出現率」については、目標値よりも高い割合の出現率となっております。

これらの要因としては、コロナの拡大により友達との関係が希薄になったことや学校行事等様々な制限が残っていることも一因となっていると考えられます。

資料6ページを御覧ください。「基本的施策③ 仕事と生活の調和に関する支援」です。子育て世帯が仕事と子育てを両立するための施策であり、来年度から新たに「放課後こども教室」を市内の北部小と天王小で試行的に実施します。

こちらのK P Iについて、「1-13 産後ホームヘルプ」「1-14 産後ケアの利用者数」を御覧ください。こちらはともに目標値を大幅に下回る実績となっております。その要因としては対象となる新生児の数の減少、感染予防による利用控え、同居家族の在宅勤務の増加の影響等が考えられます。

資料8ページ、基本目標Ⅱ「暮らしたいと思える環境づくり」です。

多様な世代が安全・安心にいつまでも暮らしたいと思えるまちを目指し、「転入・転出人口比率」「生産年齢人口比率」の増加を目指していきます。指標1の転入・転出人口比率については、年度ごとに増減が繰り返されています。

令和3年度は97.2%と転出超過であり、転出先の内訳は、日進市、名古屋市への転出超過が多く、転入元については豊田市、安城市からの転入が多い状況です。

指標2の生産年齢人口比率については、ほぼ横ばいで推移しています。令和2年度における生産年齢人口比率は全国で59.09%、愛知県で59.7%であり、比較的高い割合となっております。

資料9ページ「基本的施策① 多様な世代を誘引する仕組みづくり」です。

多様な世代が働きやすく、住み続けたいと思えるまちを作るため、環境施策や住宅、雇用等に関する支援を進めていく施策です。

資料10ページを御覧ください。

K P I左上の表「2-4 市が支援した起業・創業件数」です。こちらは令和2年度には目標値を大きく下回っていましたが、徐々に増加傾向となっており、今年度は目標値を上回る見込みです。

「基本的施策② 公共交通ネットワークの確保」です。

こちらの本文が誤っておりました。正しくは「公共交通の利便性を高め、誰もが安全で安心して移動できる環境の整備を進めます。」です。

K P Iについては、11ページのとおり、公共交通全体、さんさんバスの年間利用者数ともに目標値を下回っております。ただし、さんさんバスについては令和

<p>事務局</p>	<p>4年4月にバスの路線再編を行い、路線をこれまでの2路線から3路線、1日の便数を増便したこともあり、利用者数が大幅に増加傾向にあります。</p> <p>続いて資料12ページを御覧ください。</p> <p>「基本的施策③安全・安心なまちづくり」です。自然災害に対応でき、犯罪や交通事故のないまちを目指し、安全・安心に暮らせる環境づくりを進めます。</p> <p>資料13ページを御覧ください。「2-9 防災訓練の参加率」「2-10 防災講座の参加人数」です。ともに、コロナの影響で開催規模を縮小したことに伴う影響は大きくなっています。今年度については、年度の後半に講座の開催をしている関係で、9月現在の報告数が低い状況となっています。</p> <p>資料14ページを御覧ください。「2-12 防犯パトロール隊員数」についてもコロナ感染症の拡大に伴い、地域での自主防犯活動が制限されたことを受け、令和3年度以降ほぼ横ばいとなっています。</p> <p>続いて資料15ページを御覧ください。「基本的施策④ 魅力と活力のあるまちづくり」です。</p> <p>市民の皆様が自分のまちに誇りと愛着を持ち、新たな魅力発見ができる環境づくりを進めます。</p> <p>令和4年度の新規事業としては、SDGs推進パートナー制度の創設、魅力発見ガイドブック作成事業、イルミネーション事業などを行っております。</p> <p>続いて、資料17ページを御覧ください。</p> <p>基本目標Ⅲ「誰もが健康に暮らせる環境づくり」です。</p> <p>誰もが健康で生涯を通じて活躍できるまちを目指し、「健康寿命」「成人のスポーツ実施率の割合」の増加を目指します。</p> <p>指標1と2の健康寿命については、男性・女性ともに令和3年に向け伸びています。ただし、男性については、実績が目標値を下回っており、目標値に近づけるよう、生活習慣病の予防や介護予防を始めとした市民の健康づくりに関する施策を一層推進する必要があります。</p> <p>指標3成人のスポーツ実施率の割合の目標値は、国のスポーツ推進計画に合わせた目標値となっておりますが、本市のスポーツ実施率は伸び悩んでおり、国の平均値を大幅に下回っています。年齢別で見ると、20代から40代の実施率が低く、年代を対象に絞ったPRや誰もが運動しやすい環境整備を進める必要があります。</p> <p>資料18ページを御覧ください。「基本的施策①健康づくりの支援」です。</p> <p>市民一人ひとりが住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせる環境づくりを進めます。</p> <p>健康アプリ、介護予防教室参加者数、認知症カフェの箇所数、20ページのトレーニングルームの年間利用者数については、すべて目標値を下回っております。これらについてもコロナウイルスの影響は少なからずある状況です。比較的若いまちと言われ、高齢化率の低い本市においても、着実に高齢化は進んでおります。今後は後期高齢者の著しい増加が見込まれることから、様々な年代を対象とした健康づくり施策が必要となります。</p> <p>資料20ページを御覧ください。「基本的施策② 生涯活躍できるまちづくり」です。市民の皆様が食文化や郷土を愛し、多様な場において活躍できるまちづくりを進めていきます。</p> <p>こちらの施策のKPIは「認知症サポーターの養成人数」です。これまで多くのサポーターが養成されており、増加の率はわずかではありますが上昇傾向となっています。</p> <p>資料1の説明は以上となります。</p>
------------	---

清水政策推進部長	それでは、ただいまの説明に対して御質問や御意見等がございましたらお願いいたします。
野々山氏	J Aあいち豊田三好支店の野々山と申します。よろしくお願ひいたします。 1 ページの文末の最下段に「今後は一定の水準まで回復していくものと予測しています」という記述がありますが、大体どのあたりの水準とお考えか、お聞きできればと思いますがいかがでしょうか。
海堀政策推進部次長	企画政策課の海堀です。 概ね500人程度の水準まで回復していくものと推測しております。 令和2年の出生数が490人となっておりますので、それにプラスアルファでの水準と考えています。
清水政策推進部長	他によろしいですか。
鰐部氏	「子育て世帯支援の環境づくり」とありますが、近年共稼ぎ世帯が増えております。核家族が新しい家を建て、そこに生活する方が増えており、学童保育が不十分ではないかという気がします。子供がいると十分に働くことができません。子育ては非常に大変であり、そのために2人目や、3人目の子どもを産まないということも考えられます。 もう一つ、市を住みやすくするためには財政が豊かであることが必要であり、産業が発展することがとても大きな役割となります。先ほど様々な分野の説明がありましたが、まずは、働く場所がたくさんあるということが必要です。この地区は、非常に働く場所が多く、良い地域であると思っておりますのでその分野にもっと支援をしていただきたいです。 また、農業支援についても力を入れるべきであると思っております。柿などの特産物もたくさん採れていますが、後継者不足であり、だんだん衰退気味になってきています。その辺りを特に支援すると良いまちになるのではないかと思います。 一つだけ御質問ですが、学童保育の充実策についてお伺いしたいです。
伊藤子育て健康部長	子育て健康部長の伊藤と申します。御意見をいただきありがとうございます。 放課後児童クラブ、いわゆる学童保育についてはおっしゃられるとおり、待機児童が出ている学校もあるため、待機児童ゼロを目指し様々な施策を行っております。保育園の間は長時間預かってもらえる半面、小学校入学後は早い帰宅となってしまう「小1の壁」を無くすよう、令和5年度からも教育委員会と連携をとりながら、新たに放課後こども教室を試験的に実施していきます。今後は検証等を踏まえ、一人でも多くの子供さんをお預かりできるようにしていきたいと思っております。
清水政策推進部長	ありがとうございました。その他、ございますでしょうか。
伊藤氏	説明をいただき、理解できる場所もあったのですが、コロナ等の関係があり目標値が下がっている項目も多いと思います。様々な要因によって達成できていないことはよくわかりますが、市の方が考えていらっしゃる中で目標値を下回っている項目のうち重要かつ深刻だと考えていらっしゃるような項目がどのようなものかを教えてくださいと思っています。
清水政策推進部長	すみません。現時点で特にということを考えることがなかなか難しいのですが、2 ページ等に記載の各取組内容に対して新たな事業を進めることで目標値に近づけるようにしたいと考えております。施策を進めることにより全体的にK P I の底上げを図ることができるよう、頑張っていきたいと考えています。

伊藤氏	<p>ありがとうございます。今まだ期間の途中であり、その経過の中でコロナの状況もあり難しいことは重々承知なのですが、うまくいっていない項目があれば少しお伺いしたいと思っただけですので、結構です。ありがとうございました。</p>
清水政策推進部長	<p>ありがとうございました。その他、ございますか。</p>
熊崎氏	<p>15ページ「基本的施策④ 魅力と活力のあるまちづくり」中、「②まちの魅力の向上」「③まちの活力の向上」について。 ②に「三好ヶ丘駅周辺整備事業」とあります。私は三好ヶ丘駅前に住んでおり、近所の人や家族から言われるのですが、駅前には飲食店がなく活力もありません。5年後、私達は買い物難民になってしまう恐れもありますが、先が見えません。市の方はどのような将来展望を持っていらっしゃるでしょうか。</p>
久野都市建設部長	<p>この部分のイメージは三好ヶ丘駅周辺の活性化やにぎわいづくりです。 令和3年度には駅周辺の改修は終了しました。周辺のまちづくりについては、官民連携で進めていかなければならないと思っておりますが、難しい課題です。 駅前周辺については、土地利用の規制は緩い地域です。市が誘致するというのも必要かとは思いますが、具体的に今誘致は検討しておりません。</p>
酒井副市長	<p>元々とても若いまちであった三好ヶ丘地区もかなり高齢化が進んでいることは御指摘のとおりです。ただし、市全体においても同様の課題があるという認識をしています。買い物難民という問題については高齢者施策として市全体として考えていくべき課題であり、当然三好ヶ丘もその中に入れて検討する必要があります。どこかの地区のみをピンポイントというわけではなく、市全体で考えていきたいと考えています。</p>
清水政策推進部長	<p>ありがとうございます。他に御質問はございますか。</p>
高根氏	<p>2ページの「新たに取り組んでいる事業」について。私も子育てをしており、子どもの人数も多いので色々大変な思いをしています。 「④医療費助成の充実」に「大学生等の入院費の自己負担分を支給」と書かれていますが、他の親御さんから「高校生の医療費はどうか」と聞かれることが良くあります。大学は希望する方が行く場所です。一方で、高校は義務教育ではありませんが、行かないと就職できないということもほぼ全ての方が進学することになります。ですので、まずは高校生の医療費を何とかしてほしいという方は多くいらっしゃると思います。 また、「⑧児童の健全育成」の「低所得の子育て世帯生活支援事業」とありますが、この辺りは本当に充実していただきたいと思っております。この地域は収入の格差があり、収入の高い方も非常に多くいらっしゃいますが、反面、シングルのお家庭等、収入が全く無いような方もいらっしゃいます。一方で、収入の少ない方々が少し収入を得ることで補助がもらえなくなるケースもございます。 私は自営業をしておりますが、社員の中には給料の現金支給を望む方もいらっしゃいます。また、夜も働かないと生活できない方もいらっしゃいます。 優秀な子であっても親の収入が少ないことによって進学できないことがあります。また、塾に通わせないと成績も上がりません。学校の授業だけではついていけない子はたくさんいます。 例えばなかよしクラブ等で愛知教育大学等の学生さんが講師となり安い金額で勉強を見てもらえる事業のような、新たな政策の予定はありますか。</p>
深津福祉部長	<p>福祉部長の深津です。よろしくお願ひします。 まず、高校生の医療費助成の件ですが、現段階において高校生世代、16歳以上18歳未満の方の入院費助成を行っており、今回の大学生も同じ内容となっております。</p>

<p>深津福祉部長</p>	<p>通院費助成については、名古屋市や東京都等始まっている地域もありますが、現段階においては検討中です。</p> <p>また、生活にお困りの家庭の子供さんの学習支援については、生活困窮者の方のお子さんを対象とした学習支援を、2年程前から、市内の法人が週に1回程度実施しております。この制度については、大々的な周知はしていませんが、対象となる児童生徒に対しては、学校を通じて個別にチラシを配布することで周知を行っております。</p>
<p>清水政策推進部長</p>	<p>政策推進部長の清水です。来年度以降、奨学金等についても、これまでの所得要件を緩和し、より広い方を対象にした支援を実施する予定です。</p>
<p>酒井副市長</p>	<p>先ほど、通院費のことをおっしゃっていましたが、先ほど担当部長が申し上げたとおり、通院費に比べ入院費の方が、一般的に非常に費用が多くかかります。</p> <p>市としては、入院費を優先に見させていただいて、通院費はその後の課題であると認識をしております。</p>
<p>清水政策推進部長</p>	<p>ありがとうございます。他に御質問はございますでしょうか。</p>
<p>鰐部職務代理</p>	<p>先ほど三好丘の区長さんがおっしゃった御意見について。</p> <p>市では規制が多くされており、専用住宅街の中や農業推進地区の中に商店を作ることはできません。</p> <p>以前まちづくりの会議でもお話をしたことがあります。土地利用は10年に1回しか見直しがされません。10年に1回で良かったのは昔の話であって、今は1年1年で見直していかなければならないという状況になっていると思います。市はその辺りをどのように考えていますか。</p>
<p>久野都市建設部長</p>	<p>基本的には10年に1回、市街化区域と調整区域の見直しを行っておりますが、「随時編入」という手法もございます。地権者の皆さんからの合意が得られ、準備が整った段階においてまちづくりの変更、農地から市街化区域に変更するという手続をとることも可能です。まずは、地権者の方や地元の方の御意向をお伺いした上で、手続を進めてきたいと考えております。</p>
<p>早川氏</p>	<p>意見と質問を述べさせていただきます。</p> <p>2ページ「保護者が安心かつ楽しんで子育てができる環境づくり」と書いてあります。保護者や親になる人への支援も確かに大事ですが、その前に親としてまず何をすれば良いのかわからないということも大きいと思います。</p> <p>不安であり、何から手を付ければ良いのかわからず、子どもを産むことに躊躇してしまうということもあると思うので、保護者を対象にした説明会を設けたり、保護者同士で悩みを共有する場を設けたりするのが効果的ではないかと考えました。そのような取組を実施することは可能であるか。質問させていただきたいと思います。</p>
<p>伊藤子育て健康部長</p>	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>現段階においては、保護者を対象にしたそのような説明会については考えておりませんが、令和5年4月にこども家庭庁が創設されることを受け、市でもこども未来部を創設する予定であり、相談活動については充実していく予定です。</p> <p>そこで少子化対策の一環というだけではなく、結婚した時の悩み相談等も充実していこうと考えていますので、また良いアイデアがありましたらお聞かせください。よろしく願いいたします。</p>
<p>清水政策推進部長</p>	<p>その他よろしいですか。</p>

<p>廣田氏</p>	<p>三好丘中学校のPTA会長をやっている廣田と申します。  まず、今回の資料について、たくさんのデータを集めしっかりと報告していただき、大変な御苦労だったと思います。ありがとうございます。  今回この資料を見て、みよし市にもやはりたくさん問題があるのだと知りました。実際に私もみよし市で生活しており様々なことを思いますが、職員の皆さんも担当者として取り組んでいただいているので、今後も粛々と継続していただければと思います。  資料15ページ「わがまちに誇りと愛着を持ち、本市の新たな魅力の発見ができる環境づくり」について、子ども達にとって、そういうことを感じられる環境にしてもらいたいと強く感じています。先日PTAの発表大会があり、田原市立若戸小学校、全校生徒83人の小さな学校ですが、とても楽しそうな発表でした。PTAの行事として、地引網や、苺狩り等、地域の方と連携して子ども達を育て、子ども達が地元を愛する心を育てるという活動でした。  みよし市は田原市と規模的には異なりますが、同じPTAとして学ぶべきところはあり、それらを参考にして活動を進めていけたらと思いました。  私はスポーツに関わる仕事をしております。  みよし市では、スキーのバスツアーや、スポーツ祭で有名なソフトテニスの選手を呼ぶ等の取組を行っておりとても良いと思います。今後も子供たちがわくわくするような取組をどんどん考えてやってもらえると良いと思います。  もちろん、私達PTAを始め、地域においてもそういった取組を行っていきたいと考えております。市と協力して、一体となってやっていきたいと思っておりますので、今後もよろしくお願ひします。</p>
<p>清水政策推進部長</p>	<p>その他よろしいですか。</p>
<p>湊氏</p>	<p>連合愛知豊田地域協議会の湊と申します。よろしくお願ひいたします。  この総合戦略を策定するにあたり、やはり最大の課題は出生率、子どもが少なくなってくることによる人口減少であり、これを何とか食い止めなければならないということであったと思います。  その意味では、1ページのKPIが目標に到達していない、あるいは少しバラつきがあるといったところが大きな課題の一つだろうと思いますが、その上で2ページの取組内容に「①出会いの場の創出支援」がございます。内容を見ると、「結婚新生活支援事業」とありますが、出会いの場の創出という項目に対し、結婚後の支援はやはり違うと思います。「令和3年度以降に新たに取り組んでいる事業」と記載されていますから、その前段で出会いの場の提供事業があり、新たにと位置づけなのかもしれません。  私も企業労働組合に所属しておりますが、独身の方が非常に増えているなどということを実感しておりますので、一時期流行った街コンのような取組も必要なのかなと思います。  また、転出超過について。日進市や名古屋市の方に転出される方が多いという説明がありましたが、それを防ぐ手立て、あるいは、転入される方を優遇するような、そういった取組のさらなる充実も必要なのではないかなと感じました。意見として申し述べておきます。</p>
<p>清水政策推進部長</p>	<p>御意見ありがとうございます。</p>
<p>酒井副市長</p>	<p>今おっしゃったことは大変重要な問題です。  少子化はみよし市だけでなく国全体の大きな課題だと思いますが、出生数が少ないということが一番の問題点です。今回この1ページに年度ごとの実績を基に表を掲載させていただいたのですが、出生率、出生数については、みよし市程度の小さな母体ですと、年度ごとに増減しやすいという特徴はあるのだろうと思います。やはり一人の人が連続で子どもを産み続けることはできるわけではありませぬ。</p>

<p>酒井副市長</p>	<p>県や国ぐらい大きな母体では、単体の市町村に比べある程度安定した数値となっております。単一の市の実績検証においては、単年での比較ではなく複数年での傾向で見ることにも必要なのではないかと感じております。</p> <p>出生率は右下がりトレンドのようになってしまっておりますが、そうではないのだと、何とかさせていただきたいと考えています。</p> <p>その取組については、先ほどの出会いの場ということが一番のポイントであるだろうと思っています。</p> <p>行政がどこまで関われるか。高齢化の問題や教育の問題等、私達行政だけでなく市民の方や民間の方々の力をお借りして、協働で進めていく。先ほどのスポーツの話やまちの魅力についてもそういったところが重要だと思います。</p> <p>転出超過になるということは、みよし市にとって寂しい話です。基本的に市の東から入って西に出るというパターンが主流です。</p> <p>この理由は何かというと、どこの自治体も子育て施策に特化しているというわけではないと思いますが「まちの魅力」という点において、名古屋市や日進市、最近非常に色々なところで耳にする長久手市等のように、我々も総合力で勝負していく必要があります。都市間競争の時代ということが以前から言われていますが、そういったことが大事だと思いますのでぜひ皆様方の御協力をいただきながら、頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>清水政策推進部長</p>	<p>他に意見はございますか。</p>
<p>鱒部氏</p>	<p>色々な施策はあるかと思いますが。先ほど申し上げた子育ての問題もあるわけですが、それ以上に地域で大きくなっているボーイスカウトやガールスカウト等の諸団体があります。そういう団体も今だんだん下火化している状況です。</p> <p>行政が多少なりともそういった団体に対して指導や援助、予算化されたりしているかと思いますが、不足しているような気がします。</p> <p>また、婚活の問題について。婚活は以前商工会の女性部が10年間ほど実施していました。最近はコロナの関係で中止となり3年ほど開催していません。それについてもやはりある程度行政が関わって指導してやっていかなければならない仕事じゃないかと私は思います。</p> <p>また、少年野球についても非常にみよしの地区、東郷、日進では活発に行われています。それに対して父兄の皆様やボランティアが一生懸命支援しています。また、ライオンズクラブも大分支援しています。</p> <p>行政からの支援はほとんどないという状況ではありますが、青少年や子供たちが笑顔になる一つのきっかけにならないかなと思うという意見です。</p>
<p>清水政策推進部長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>皆様から貴重な御意見をいただきましたので、今後市政の方にもいただいた御意見を参考にして役立てていきたいと思っていますので、御理解御協力の程よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは次の議題に移ります。</p> <p>議題(2)みよし市の地方創生に係る活動報告のア、みよし市企業版ふるさと納税について事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>議題2 ア「みよし市企業版ふるさと納税制度」について説明をさせていただきます。</p> <p>資料2-1を御覧ください。制度の概要です。</p> <p>企業版ふるさと納税とは、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に最大9割の法人税が税額控除される仕組みです。</p> <p>企業側にとっては、少ない負担で地域貢献ができ、PR効果が高いというメリットがあり、自治体側にとっては、行いたいプロジェクトに対しより多くの財源が確保できるというメリットがあります。</p>

事務局	<p>留意事項がございますとおり、企業版ふるさと納税の対象は、みよし市外に本社がある企業に絞られており、1回あたり10万円以上の寄附が対象となります。資料裏面を御覧ください。</p> <p>寄附対象事業については、総合戦略を抜粋した地方創生推進計画に位置付けられる全ての事業となります。</p> <p>また、寄附を行われた企業が得られるベネフィットとして、寄附金額に応じ、市ホームページやSNS等での周知、お礼状の贈呈、広報みよしでの企業紹介等のメニューを設けています。</p> <p>続いて資料2-2を御覧ください。企業版ふるさと納税の対象となる事業を掲げた「地域再生計画」です。こちらは本年度7月に国から認定を受けており、内容については、議題1で御審議いただいた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」から抜粋・加筆した内容となります。</p> <p>地域再生計画が認定されることで、企業版ふるさと納税を活用することが可能となりますが、より多くの寄附を得るためには、他市と差別化できる魅力的なプロジェクトを提示していく必要があります、第一弾として資料2-3に掲載の2事業「ネウボラ応援事業」と「エコエネルギー促進応援事業」の募集を開始しています。</p> <p>なお、プロジェクトについては、随時新規事業を追加していきたいと考えており、今後、多くの企業の皆さまに御支援をいただけるよう、工夫を凝らしたプロジェクトの提案をしていきたいと考えております。</p>
清水政策推進部長	<p>それでは企業版のふるさと納税につきまして何か御意見等ございましたらお願いいたします。</p>
鰐部氏	<p>ふるさと納税制度の成功自治体はどこも返礼品が素晴らしいです。そういった自治体では納税額が上がっていますが、みよし市は魅力のある返礼品が少ないと思います。成功自治体を見ていると、その地域の特産でなく非常においしいものを返礼品にしています。碧南市については、ウナギのかば焼きを返礼品としていますが、ウナギの産地自体は一色産です。そのような返礼品をインターネットで宣伝をして返礼品をPRしている状況もあります。</p> <p>みよし市は流出する金額の方が多いので、少しでも挽回するために魅力のある返礼品を出した方が良くと思います。</p>
清水政策推進部長	<p>個人のふるさと納税については、みよし市製という条件の中で、地場産業で出品しなければならない等、色々な条件がありますので、条件の範囲内なるべく良いものを市外の方々に届けていきたいと考えております。</p> <p>商工会さんにおいても新たにこんな良いものがあるというものがございましたら教えていただければ、私ども職員が企業に出向き、お願いに上がって、ふるさと納税の返礼品に登録していきたいと考えておりますので、皆様もみよし市内での情報がございましたら、市に御連絡いただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
廣田氏	<p>鰐部さんのおっしゃるとおり、このベネフィットだとみよし市の魅力に関係していないと思います。どこの都市とも同じようにしか思えません。</p>
清水政策推進部長	<p>ありがとうございます。個人版のふるさと納税と企業版のふるさと納税があり、個人版の方は先ほど申し上げた通りですが、企業版の方は、みよし市の地域再生計画に沿った事業をし、それに対して寄付をいただくと仕組みとなっております。</p> <p>資料2-1のベネフィットに書いてありますように、法人税上の様々なメリットがあるというようなことになっており、制度自体が違っています。</p>

	<p>時間の関係もございますので、次の議題「みよし市SDGsフォトコンテストの事業の実施」に移らせていただいております。</p> <p>では事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議題2 イ「みよし市SDGsフォトコンテストの事業の実施」について説明をさせていただきます。モニターを御覧ください。</p> <p>今回の「フォトコンテスト事業」については、市の主事級職員と東海学園大学の学生で構成するみよし市第2期SDGs推進プロジェクトチームが企画と運営を進めてきました。</p> <p>続いてプロジェクトの取組状況です。</p> <p>昨年度は「市民へのSDGsの発信」に向けた事業検討としてSDGsについてカードゲーム等の研修を通じて学び、各チームで検討した提案事業を発表し検討しました。</p> <p>本年度は、昨年度採択された事業である「フォトコンテスト事業」の企画・運営を5回の会議を開催しながら行ってきました。</p> <p>また、コンテスト事業の啓発活動として東海学園大学の学生が講師となり市内小中学校での出前講座を4回実施しました。こちらは、講義やグループワーク、ワークショップの様子です。</p> <p>続いて「フォトコンテストについて」を御覧ください。</p> <p>今回の募集作品は、「みよし市内で撮影したSDGsのゴールを意識するきっかけとなる写真」で、一般の部と小中学生の部の2部構成で本年度9月から11月11日まで募集を行いました。</p> <p>出前講座を開催した小学校を中心に、市内小学生から多くの応募があり、応募点数は総合計で363点となりました。</p> <p>審査については、第一次審査として、プロジェクトチーム員が全作品について審査を行い最終審査候補作品を一般の部15点、小中学生の部上位30位32点を選定。</p> <p>その後、第二次審査として、市の幹部職員で構成する本部会議において「市長賞」「教育委員会賞」を選定し、共催者と協賛企業の審査を行いました。</p> <p>こちらは受賞作品の写真です。</p> <p>受賞作品は、みよし市長賞が3点、東海学園大学学長賞が3点、教育委員会賞が小中学生の部のみで4点、以下協賛企業賞として、カネヨシ賞2点、森島製作所のフォレストアイランド賞が1点、豊田信用金庫賞が2点、特別養護老人ホーム安立荘のハチドリチャレンジ賞が2点、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社のもしもの時に備えま賞が2点、イオン三好ショッピングセンター賞が2点の、以上合計2141点です。</p> <p>受賞者に対して、2月11日土曜日に表彰式を行いました。</p> <p>こちらが表彰式当日の様子です。3人の欠席者を除く18人に授与を行いました。</p> <p>また、SDGsフォトコンテスト作品展をイオン三好ショッピングセンターで2月26日までの間、開催しております。お時間等ございましたらぜひお立ち寄りいただけますと幸いです。</p> <p>以上でSDGsフォトコンテストについての報告を終わります。</p>
清水政策推進部長	<p>ただ今の説明について、質問、意見等がありましたらお願いします。</p>
高根氏	<p>感想ですが、東海学園大学学生が絡んで行っており素晴らしい取組だと本当に思います。</p> <p>出前講座についても、全ての小中学校で開催できたら良いと思います。お兄さんやお姉さん達からの言葉は子供の耳にとっても入ります。私が子供に話してもあ</p>

高根氏	<p>まり聞かないのですが、学生さん達が話すことで「そうなんだ」と夢を持てると思っています。もっとこういう取組をすすめていただけたらと思いますし、企業さん達についても同様に絡んでいただくことで、皆目標を持てると思うので、ぜひやっともらえたらなと思ひ、感動しました。</p>
清水政策推進部長	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>この取組については若手職員が中心になって進めており、とても励みになりますので今いただいた御意見を伝えていきたいと思ひます。</p> <p>それでは最後の議題に移ります。議題(2)ウ「みよし市SDGs推進パートナーの現況」について、事務局から説明をさせていただきます。</p>
事務局	<p>議題2 ウ「SDGs推進パートナーについて」説明をさせていただきます。</p> <p>資料1 ページを御覧ください。本年度4月に募集を開始した、SDGs推進パートナーについては、本年度12月末現在で56団体となっております。</p> <p>ここからはモニターで説明させていただきます。</p> <p>これまでのパートナーの活動状況です。</p> <p>6月30日に第一次登録パートナーへの登録証授与式を実施しました。</p> <p>登録証の授与、パートナーの活動パネル展示、集合写真の撮影等を行い、顔合わせを行いました。</p> <p>7月21日から市役所1階中央階段でSDGsパートナー名の紹介を行いました。</p> <p>(3)SDGsフォトコンテストへの協賛希望募集について、パートナーを対象に行いました。6社からの協賛をいただきました。</p> <p>8月20日に市民向けワークショップを株式会社カネヨシに協力いただき、開催しました。内容は、ペットボトルキャップを使ったパズルづくりです。</p> <p>10月13日にパートナーと市の管理職を集め、SDGsセミナーを実施しました。同じくパートナーであるあいおいニッセイ同和損害保険株式会社に講師を務めていただき、パートナーと市管理職が合同で開催しました。</p> <p>続いて「3パートナー制度募集要項の変更について」説明させていただきます。</p> <p>応募資格について、「SDGsの達成に向けた取組や市内での活動を実施していれば、みよし市に事業所がなくても申込可能」としておりましたが、令和5年1月申請分から「県内の企業や団体のみを対象」に変更させていただきました。</p> <p>パートナー制度開始後、県外の企業からも数社の登録をいただきましたが、実際の活動にも御参加いただくことがほぼ不可能であり、名前だけの登録となってしまう可能性が高いことから、要件を変更させていただきました。</p> <p>また、現在登録済の企業については、引き続きパートナー登録を継続しますが、毎年度の活動状況報告の御提出をいただけない場合等、資格を取り消すことがある旨を通知しております。</p> <p>最後に令和5年度の活動予定です。</p> <p>まず一つめは「パートナーと連携したワークショップや出前講座の開催」です。</p> <p>登録パートナー数が増え、パートナーの中にはSDGsに関する専門的な知識を有する方が多くいらっしゃいます。そういった方達の知識を市に関わる様々な方に還元できるよう「サポーター」として登録し公表することで、SDGsをもっと学びたい市民や小中学校等とマッチングを行える体制を整えたいと考えています。</p> <p>続いて、「パートナーと庁舎内各所属との協働事業のマッチング」です。</p> <p>これまで、SDGsに関することは企画政策課を中心に行っておりますが、どの所属の業務についても少なからずSDGsに関連しています。民間の力を借りれば実現可能な取組や、民間との連携により効果の高まる取組等、パートナーや庁舎内各所属から事業提案を募り、マッチングを行う体制を整えていきます。</p>

	<p>また、これらの新規事業以外にも、今年度同様のセミナーや交流行事等を開催することを予定しております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
清水政策推進部長	<p>ただ今の説明について、質問、意見等がありましたらお願いします。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>以上で議題を終了します。進行を事務局に返します。</p>
典 礼 海堀課長	<p>皆様大変御貴重な意見をいただきありがとうございました。</p> <p>いただいた御意見については、今後総合戦略を進める上での参考にさせていただきます。</p> <p>それでは、以上をもちまして、第1回みよし市まち・ひと・しごと創生会議を終了いたします。</p> <p>一同御起立ください。 一同礼。ありがとうございました。</p>